

第8回 嘉麻市まち・ひと・しごと創生推進会議 会議録

- 1 会議等の名称 第8回嘉麻市まち・ひと・しごと創生推進会議
- 2 開催日時 令和7年3月3日(月) 14:00～
- 3 開催場所 嘉麻市役所本庁舎5階 本庁舎5階委員会室1
- 4 公開または非公開の別 公開
- 5 出席者

(1) 出席委員

元 近畿大学産業理工学部 学部長	井原 徹
嘉麻市観光まちづくり協会	有田 芳行
株式会社福岡銀行	林田 史朗
自治労嘉麻市職員労働組合	新原 直子
九州テレ・コミュニケーションズ (株式会社ケーブルステーション福岡)	柿森 悦良
J Aふくおか嘉穂	平畑 英幸
一般公募	森 美佐子
一般公募	穴井 里佳

(2) 欠席委員

嘉麻市誘致企業振興会	中川 辰二
嘉麻市PTA連合会	大里 健
嘉麻・桂川保育協会	溝口 恭子
嘉麻市行政区長連合会	冨崎 静江

(3) 執行機関

企画財政課 課長	大村 輝生	課長補佐	森 康弘
	係長 藤内 優	主任	香田 潤佑

- 6 傍聴人数 0人
- 7 議題及び審議の主な内容
 - 嘉麻市まち・ひと・しごと創生(地方創生)の取組(進捗)について
 - 嘉麻市人口ビジョン・デジタル田園都市構想総合戦略の答申について
 - その他

8 配布資料

- (1) 第8回 嘉麻市まち・ひと・しごと創生推進会議 レジюме
- (2) 嘉麻市まち・ひと・しごと創生(地方創生)取組【事業一覧】
- (3) 第2次嘉麻市総合計画後期基本計画及び嘉麻市過疎地域持続的発展計画取組【事業一覧】(抜粋)
- (4) 総合戦略パブコメ結果

9 審議の内容

● 嘉麻市まち・ひと・しごと創生（地方創生）の取組（進捗）について

事務局より資料1、2を使って説明

・嘉麻市総合戦略については令和6年度末までの計画期間となっており、現時点で把握できている、取組の進捗状況について協議願いたい。

・資料1は、現行の嘉麻市総合戦略における、嘉麻市まち・ひと・しごと創生（地方創生）の取組をまとめたもの。今年度においては、次期計画策定の協議の中でも、報告をしているところではあるが、最新の進捗状況として、令和7年1月末時点で、令和6年度実績と目標値比較の実績を追記している。

・基本目標については、1～3は、計画期間が終了しておらず、未把握、4については、市民意向調査を令和6年8月に実施しており、市の住みやすさについて調査した結果、「住みやすい」「まあ住みやすい」と回答した人の割合は68%で、目標値に設定していた75%には到達しなかった。

・4つの基本目標を達成させるために実施している具体的な事業における重要実績評価指標（KPI）について、1～4の基本目標ごとに説明。

○基本目標1 「嘉麻市で働きたい」を叶える、安定した雇用を生み出す

設定している4つの重要実績評価指標（KPI）については、現時点で、すべて目標値をクリアしており、順調に事業実施が来ている。

○基本目標2 「嘉麻市に行きたい！住みたい！」と思える魅力あるまちづくりを行う

設定している4つの重要実績評価指標（KPI）のうち、転入者等住まい応援交付金事業活用者数以外については、目標達成が難しい状況。その主な要因としては、当初設定していた観光拠点について、「道の駅うすい」など利用者の大半を市民が占める施設なども入っていたため、計画策定後に変更しており、数値の把握方法が大幅に変わったためと考えている。

また、分譲地の区画数については、計画期間中には目標達成は難しいが、来年度以降に区画数を増やす計画もある為、次期計画でも引き続き目標として設定している。

○基本目標3 安心して結婚・出産・子育てすることが出来る、切れ目のない支援を行う

設定している4つの重要実績評価指標（KPI）のうち、婚活イベントのカップル成立数と全国学力・学習状況調査の平均正答率については、目標達成が難しい状況。

婚活イベントのカップル成立数については、毎年度、目標値に近い成果を上げていたが、令和6年度は事業を廃止している状況。

全国学力・学習状況調査の平均正答率については、目標値までは達成していないが、基準値である平成30年度からみると、小中学校ともに、改善されている。

○基本目標4 誰もが住みやすい、安心・安全なまちをつくり、地域と地域を連携する

設定している4つの重要実績評価指標（KPI）のうち、自主防災組織カバー世帯率については、目標達成が難しい状況。

自主防災組織カバー世帯率については、目標値を100%に設定しているため、達成には至っていないが、基準値である平成30年度からみると、少しずつ改善されている。
市バス年間利用者数については、目標に向け順調に推移している。

・資料2は、嘉麻市総合戦略との関連の計画である、「第2次嘉麻市総合計画後期基本計画」及び「嘉麻市過疎地域持続的発展計画」の取組や関連指標について、嘉麻市総合戦略の4つの基本目標ごとに抜粋してまとめたもの。

・1～4の基本目標ごとに総合計画の関連指標、実績などを説明。

○基本目標1 「嘉麻市で働きたい」を叶える、安定した雇用を生み出す。

嘉麻商工会議所会員事業所数、嘉麻市商工会会員事業所数、誘致企業数を目標に設置。

嘉麻商工会議所会員事業所数は目標に向け順調に推移しているが、嘉麻市商工会会員事業所数は事業主の高齢化などが原因で減少傾向にある。

また、誘致企業数については計画期間中の増加は1社となっている。

○基本目標2 「嘉麻市に行きたい！住みたい！」と思える魅力あるまちづくりを行う

空き家バンク登録件数、空き家バンク登録物件の成約件数などを目標に設置。

登録件数、成約件数ともに、毎年増加はしているが、目標達成に向けては、登録数が思うように伸びていないなどの課題も出てきている。

○基本目標3 安心して結婚・出産・子育てすることが出来る、切れ目のない支援を行う

外国語指導助手配置校、オンライン英会話実施回数などを目標に設置し、目標に向けて順調に推移している。

○基本目標4 誰もが住みやすい、安心・安全なまちをつくり、地域と地域を連携するについては、総合戦略及に同じ目標設定があるため、説明省略。

・嘉麻市過疎地域持続的発展計画の取組については、総合戦略及び総合計画に同じ目標設定があるため、説明省略

【主な質疑及び意見等】

・資料1の観光関連について、数値の部分は指標や尺度によって変わってくると思うが、どのように集計されているのか。

⇒現在は、嘉麻市のメインの観光場所としてボルダリング施設等があげられるが、どうしても集計対象となる施設は限られてくる。

計画当初は道の駅を集計の対象としていたが、道の駅は市内から訪れる方が多く途中で集計対象から除外した。どういった指標や尺度で集計するのかはある程度統一しなければならないと考えている。

・総合戦略を考える際、観光関係は目標としてはあげやすいが、数字がつかみにくく効果があるかどうかを検証しづらい。

市として観光を目玉にしていくのであれば、国へ報告が出来る様な指標の取り方も含めて情報を拾い上げて底上げしていく必要がある。データとして目に見えれば、その結果として意識なども変わっていくため、行政として戦略的に考えていく必要があると思う。

⇒観光関係は産業振興課が担当となっているが、現在、嘉麻市の歴史文化等を活用した観光客の獲得に向けて、各課連携して施策の協議を進めている。

アウトドアシティ宣言もあり、市としては、観光には力を入れていきたいと思っている為、他に良い把握方法がないかを検討しながら進めていきたい。

・最近では観光のインバウンドのあり方が変わってきている。

福岡にも海外の方がたくさんお見えになっていて、今はいわゆる「メジャーではないところ」「他に外国人がいないところ」を求められる方が多い。

嘉麻市にも中国、台湾等から海外の方が見えられていて、確かにインバウンドの影響を受けている状況である。

その為、指標をしっかりと考えていかないと正確な数字をとらえることは難しいだろう。

・(副会長への質問) インバウンドの影響で色々な国の方が来られていると思うが、どこの国の方が来られているか等は分かるか？

⇒東南アジアの台湾が一番多く、シンガポール、フランス、ドイツ、オーストラリアから来られている方もいる。

欧米と東南アジアでは考え方が全く異なっており、例えばシンガポールは火を焚けないため嘉穂アルプスなどに来られる方が多い。

フランス・オーストラリア・ドイツの方は日本の米文化や酒蔵、味噌づくり、田園風景等を気に入られている方が多い。

また、カホアルペでは現在ベッドを設置しているが、畳の部屋で布団で寝たいとの要望もあっている。嘉麻市ならではのものを発信できることは非常にいいのではないかと考えている。

・資料2の空き家バンクについて、データになかなか伸びが無いと思われるが、不動産屋と空き家バンクはターゲットが異なる。

他の地方では、不動産屋が新築物件も中古物件も取り扱っている。通常、不動産屋からすれば新築物件の方が収入が高いため好まれるが、中古物件に対し自治体が補助金を出し不動産屋が損をしない形をとっている自治体もある。

目標値の取り方が一般の不動産とは異なるため、線引きして戦略的に目標を決めていくといいのではないかと。

⇒総合計画については、来年度(令和7年度)から新しく策定する予定となっているため、そういったところも反映させていきたい。

・空き家バンクに市民が登録するまでの流れや、その後どう利用されているのかを教えて欲

しい。

⇒市としては、空き家バンクへの登録のみを行い、実際に売買等をする際には当事者間でのやりとりをお願いしている状況。

市は売買には関わっておらず、あくまで情報を周知するだけの形をとらせてもらっている。

● 嘉麻市人口ビジョン・デジタル田園都市構想総合戦略の答申について

事務局より資料3を使って説明

・資料3に示している意見募集要領にて、パブリックコメントを実施したが、意見については0件であった。

・嘉麻市人口ビジョン・デジタル田園都市構想総合戦略の素案については、パブリックコメントの実施の他に、各課への照会なども行っている。

・先日お送りした素案については、前回の会議での意見と各課からの意見を取りまとめたものになる。内容については、大きな変更はなく、誤字脱字や言い回しの変更のみのため、説明は省略。

・本会議で承認が得られれば、この後、市長への答申を行う。

【主な質疑及び意見等】

・資料3について、総合戦略はHP等に公表されているか？また、HPに掲載されたものの閲覧件数などは分かるのだろうか。

⇒HPにも素案を掲載し、また各庁舎に情報コーナーがあるので、印刷して設置していた。閲覧件数については、調査してみないとわからないが、調べられるとは思う。

・パブリックコメントはどのような募集の仕方が一般的なのか。

また、HP等の閲覧件数が分かれば、意見が0だったとしても、皆さんにどのくらい見ていただいているかなどで、関心の高さについて把握できるため、バックデータとして、持っておいた方がいいと思う。

⇒パブリックコメントについては、自治基本条例に基づいて募集している。

来年度（令和7年度）には自治基本条例を見直す機会があるため、全体の計画でそういったバックデータが把握できないかを含め、自治基本条例の見直しについて検討したい。